

サステナビリティ基本方針とマテリアリティの特定について

－経済的価値と社会的価値の持続的な創出を目指して－

三洋化成工業株式会社
 (証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、代表取締役社長:樋口章憲)は、ステークホルダーとの共創により経済的価値と社会的価値の両輪で企業価値を長期にわたって持続的に向上していくために、新たに「サステナビリティ基本方針」を策定するとともに、当社グループの中長期での価値創造に大きな影響を及ぼす重要課題として「マテリアリティ」を特定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、社は「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」に基づき、創業以来一貫してサステナブル経営を実践してまいりました。この度、この経営姿勢をステークホルダーに明示すべく、「サステナビリティ基本方針」を策定するとともに、当社グループの中長期での価値創造に大きな影響を及ぼす重要課題として「マテリアリティ」を特定しました。2030年のありたい姿に向けて進めている「WakuWaku 経営^{*1}」において、これらの課題解決を優先事項として取り組んでまいります。

1. サステナビリティ基本方針

三洋化成グループは、創業以来大切にしてきた社は「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」に基づいて、ステークホルダーと連携しながら、経済的価値と社会的価値を共に向上させて、将来にわたって持続的な成長を目指します。

2. マテリアリティの特定

社は「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」の理念の下、6つのマテリアリティを特定しました。「すべてのステークホルダーのワクワク」・「環境・社会的価値と経済価値をステークホルダーと共創」・「社員一人ひとりが価値の創出に貢献」を実現しながら、これらの課題に取り組めます。

＜事業に関するマテリアリティ＞

分類	マテリアリティ
環境 E ・環境と調和した循環型社会を目指して、環境を支える	Interface Innovator ^{*2} としてカーボンニュートラルの達成    
生命/生活 L ・健康・安心に暮らせる社会を目指して、人とくらしを支える	「はたらき」を化学してQOLを向上 

＜基盤強化に関するマテリアリティ＞

分類	マテリアリティ
社会 S ・一人ひとりが輝く社会を目指して、多様性を支える	産業/文化/教育の価値創出を下支えしてイノベーションを創出    多様な価値観を認め合って人財育成と職場環境を向上   
ガバナンス G ・社会から信頼される透明性のある経営を目指して	ガーディアン機能を強化してリスク管理を徹底   挑戦を恐れない透明性のある経営  

当社グループは、これらの課題解決に取り組むとともに、積極的な情報開示による、ステークホルダーとのコミュニケーション強化を図り、今後も引き続きサステナブル経営を実践してまいります。

※マテリアリティの詳細については、こちらをご参考ください。

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/sustainability/materialissues>

< 参考 >

＊1 WakuWaku 経営

従業員一人ひとりにスポットライトを当てて個々のワクワクを引き出し、それぞれを価値の創出に貢献できる主役にするとともに、全組織がプロフィットを意識した One Team の強い骨格を作り、すべてのステークホルダーのワクワクを引き出す当社独自の経営手法。ワクワクする未来に向けて持続可能な、よりよい社会に向けた活動を展開する。

＊2 Interface Innovator: 界面制御といった技術や製品の提供だけにとどまらず、人と人をつないだり、化学の枠を越えてソリューションを提供するなど、「あらゆる界面」で活性化を促す役割のこと。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

三洋化成工業株式会社

経営企画本部 広報部

電話 075-541-4312

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>